

## SCHOOL HEALTH SCALE® (SHS)使用についてお願い

この SCHOOL HEALTH SCALE® (SHS) をご使用になる場合は、このままの形で複写して、個人やチーム、団体、組織に自由にお使いいただいて構いません。しかし、この SHS は商標登録されたものであり、開発者の許可なく、勝手な改変、複製、再商標化、利益を得るための行為は一切禁止とし、これを違反した場合はしかるべき対応をいたします。

なお、お使いいただいた際には、是非感想などお聞かせください。SHS に対するご意見、ご指摘をもとに開発者一同さらに使いやすいシートに改良してまいります。

またこのシートは、あくまでも子供が記入し、子供自身が自己管理できることを目的としているため、医療機関が記載する診断書や指示書、治療計画書ではありません。医学的診断を伴った証明書といった目的での使用は避け、子供のために使用してください。

## 生徒の診察・治療・リハビリ等に関わってくださる皆様へ

<SCHOOL HEALTH SCALE®の活用の目的>

このシートは、ケガの現在の状態について専門家の見解が1～6のレベルで示されることにより、子どもや知識がない人にも理解が容易になることを目的としています。このシートを活用することで保護者や学校（養護教諭や部活動顧問）、医師、理学療法士、治療家、トレーナーの円滑なコミュニケーションが促進され、無理な復帰や無理な運動、治療・リハビリの途中離脱等を減らし、再発予防・けが予防につながることをねらいとしています。

<活用についてお願い>

- ① レベル「3」と「4」の間を日常生活レベル (ADL)
- ② 「6」がケガ前の健康な状態（競技への復帰）(RTP)
- ③ 「+α」をケガ前の状態よりレベルアップと設定し、その他は生徒が自分で管理しやすいように、自由な発想で運用していきたいと考えております。

お忙しい中恐れ入りますが、生徒の自己管理能力育成にご協力の程よろしくお願い申し上げます。

開発者一同

開発者 金澤 良（岩倉高等学校 養護教諭）

共同開発者 鳥居 俊（早稲田大学） 笠次 良爾（奈良教育大学） 渡邊 裕之（北里大学）

三森 寧子（千葉大学） 村田 祐樹（名古屋大学） 大伴 茉奈（国立スポーツ科学センター）

齋藤 千景（埼玉大学）

お問い合わせ先：[schoolhealthscale@gmail.com](mailto:schoolhealthscale@gmail.com)